

リスク工学専攻後期 昼夜開講プログラム

リスク・後期昼夜開講プログラム・専門基礎科目[共通](必修)

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|------------------|------|-----|--------|------|-----|---------|-------------------------------------|---|--|
| 02CF001 | リスク工学後期特別演習 | 2 | 2.0 | 1-3 | 通年 | 随時 | 総合B0110 | リスク工学専攻専任教員, 津田和彦, 吉田健一, 倉橋節也, 木野泰伸 | 各々の研究に関するプレゼンテーションを行う。また、プレゼンテーション技術の取得と向上を図る。 | 必修 |
| 02CF002 | リスク工学後期特別研究 | 3 | 6.0 | 1-3 | 通年 | 随時 | | リスク工学専攻専任教員, 津田和彦, 吉田健一, 倉橋節也, 木野泰伸 | リスク工学の各分野に関係する具体的研究テーマを設定させ、その研究指導を行う。また、専門分野のレビューについて外国語によるプレゼンテーションを行わせる。 | 必修 |
| 02CF041 | リスク工学後期インターンシップA | 3 | 1.0 | 1-2 | 通年 | 随時 | | リスク工学専攻専任教員 | 企業、官公庁の研究所、非営利団体などの現場における就労体験を通じて自らの能力涵養、適性の客観評価を図るとともに、将来の進路決定に役立てる。 | レジリエンス研究教育推進コンソーシアムの参画機関をはじめとする教員が認めた機関が対象 |
| 02CF042 | リスク工学後期インターンシップB | 3 | 2.0 | 1-2 | 通年 | 随時 | | リスク工学専攻専任教員 | 企業、官公庁の研究所、非営利団体などの現場における就労体験を通じて自らの能力涵養、適性の客観評価を図るとともに、将来の進路決定に役立てる。 | レジリエンス研究教育推進コンソーシアムの参画機関をはじめとする教員が認めた機関が対象 |

リスク・後期昼夜開講プログラム・専門科目[分野共通]

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|-----------------|------|-----|--------|------|------|----|-------------------------------------|--|--|
| 02CF102 | リスク・ケーススタディ研究 | 3 | 1.0 | 1-3 | 通年 | 随時 | | リスク工学専攻専任教員, 津田和彦, 吉田健一, 倉橋節也, 木野泰伸 | リスクに関わるケーススタディを行うことにより、課題発見、情報・データの収集と解析、多面的評価、成果発表にいたる一連の過程を体験する。学生自主プロジェクトとして推進する。 | |
| 02CF103 | リスク工学後期プロジェクト研究 | 3 | 2.0 | 1-3 | 通年 | 随時 | | リスク工学専攻専任教員, 津田和彦, 吉田健一, 倉橋節也, 木野泰伸 | リスク工学に関するプロジェクトを独自に提案し、調査・分析に基づいて問題の構造およびプロセスの解明とメカニズムの分析を行い、問題解決のための方策を提言する。 | |
| 02CF201 | 情報検索特論 | 4 | 1.0 | 1-3 | 春C | 応談 | | 津田 和彦 | インターネットなど爆発的に増加する情報量の中から必要な情報を探し出すことは、キーワード検索のみでは困難である。そのため、分野分類、概念検索、更には意図理解など、高度な検索技術が開発されつつある。本講義では、高度検索技術の要素技術および適用分野について紹介する。 | 西暦奇数年度開講。 02FA238と同一。 |
| 02CF202 | 知的ドキュメント管理論 | 4 | 1.0 | 1-3 | | | | | 常に氾濫しがちなドキュメント情報を、知識とするには「必要とする情報」を高速かつ漏れなくピックアップする必要がある。これを実現するための手法について講義する。また、既存の管理方法を紹介するとともに、それらの手法の問題点についても考察する。 | 西暦偶数年度開講。 02FA239と同一。 |
| 02CF203 | ネットワーク特論 | 4 | 1.0 | 1-3 | 秋C | 随時 | | 吉田 健一 | インターネットの発展は人工知能やデータマイニング技術と共に、新しい社会インフラとしての地位を確立した。本講義では、このような背景の中、ビッグデータ・クラウドサービスなど関連の最新論文を題材に、各論文の貢献について議論する。議論の目的は、論文が研究分野にもたらず貢献に留まらず、各論文の査読プロセスなどにも立ち入りながら、査読の仕方、査読への対応の仕方などについても学ぶ。 | 西暦奇数年度開講。 02FA242と同一。 |
| 02CF204 | 情報マネジメント | 4 | 1.0 | 1-3 | | | | | 現代の情報処理技術がWWWのような新しい価値を創出しようとしている一方、迷惑メールやインターネットウイルス等のマイナス面が新たなマイナスの社会要因を作りつつある。本講義では、このような社会背景の中、問題となる各種概念および関連技術に関する論文を題材に、論文内容に関する議論を行う。議論の目的は、論文が研究分野にもたらず貢献に留まらず、各論文の査読プロセスなどにも立ち入りながら、査読の仕方、査読への対応の仕方などについても学ぶ。 | 西暦偶数年度開講。 02FA243と同一。 |
| 02CF205 | 複雑システム論 | 4 | 1.0 | 1-3 | 秋B | ±5,6 | | 倉橋 節也 | 流行現象、流通・取引関係、プロジェクト運営、伝染病など、人や組織に起因する社会のさまざまな関係は、複雑システムの視点から捉えることができる。これらを分析する手法から、マルチエージェント技術、ネットワーク分析、学習理論などのモデルと手法を取り上げ、最近の研究成果に関する文献を読む。 | Medium of instruction is Japanese. Please see the Japanese syllabus for the details. 西暦奇数年度開講。 02FA246と同一。 |
| 02CF206 | 知能情報システム | 4 | 1.0 | 1-3 | | | | | 複雑な社会の問題を扱うためには、複雑システムのモデル化が必要となる。知能情報システムは、人工知能やシミュレーション技術を基礎としたボトムアップ型のアプローチをとり、自律的、適応的な手法を用いて対象をモデル化する。本講義では、進化計算、学習理論、エージェントベースモデリングなどの手法を学び、受講者の問題意識に対応した関連文献を読む。 | Medium of instruction is Japanese. Please see the Japanese syllabus for the details. 西暦偶数年度開講。 02FA247と同一。 |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|----------------------|------|-----|--------|-------|------|----|---|--|--|
| 02CF207 | プロジェクト・マネジメント論 | 4 | 1.0 | 1 - 3 | 春B | 金7,8 | | 木野 泰伸 | 企業は変革を成し遂げるために、各種プロジェクトを実施する。プロジェクトを成功させるためには、ビジョンの明確化、計画の立案、作業の実施、状況のモニタリングとコントロールの各段階において体系化されたマネジメントプロセスを実施することが大切である。本講義では、その手法について学習する。 | 西暦奇数年度開講。02FA234と同一。 Medium of instruction is Japanese. Please see the Japanese syllabus for the details. |
| 02CF208 | システムデザイン論 | 4 | 1.0 | 1 - 3 | | | | | 世の中には、社会システム、経済システム、発電システムなど、物理的、概念的要素が集まることによって構成されるシステムが多く存在する。それらシステムは、人類によって設計されるものも少なくない。本講義では、そのようなシステムの特徴を確認し、設計方法について議論する。 | Medium of instruction is Japanese. Please see the Japanese syllabus for the details. 西暦偶数年度開講。02FA275と同一。 |
| 02CF907 | リスク工学後期特別講義(ビジネスリスク) | 1 | 1.0 | 1 | 夏季休業中 | 集中 | | 関口 昭如, 増田 聡, 吉田 健一, 倉橋 節也, 津田 和彦, 木野 泰伸 | 有職社会人であり博士の学位を取得した人を招き、仕事と研究を両立する利点とリスクを、具体的な事例を講和いただくと共に、ディスカッションを通じて、その対策などを検討する。 | 教室:東京キャンパス文京校舎6階649計算機室 |